

S-01.

Temphawk 温湿度センサー

【手順3～5】

Temphawk(温湿度センサー)の
接続設定について説明します。

露地、ハウス、畜舎、水槽などの温度、湿度、水温
などを計測し記録ができます。

センサーの組立て & 設定

Step 1

Temphawkのデバイスとセンサーケーブルを箱から出します

箱の中には次のパーツが入っています。

- ・ Temphawk本体 x 1
- ・ USB充電ケーブル x1
- ・ 温度・湿度センサーケーブル x1



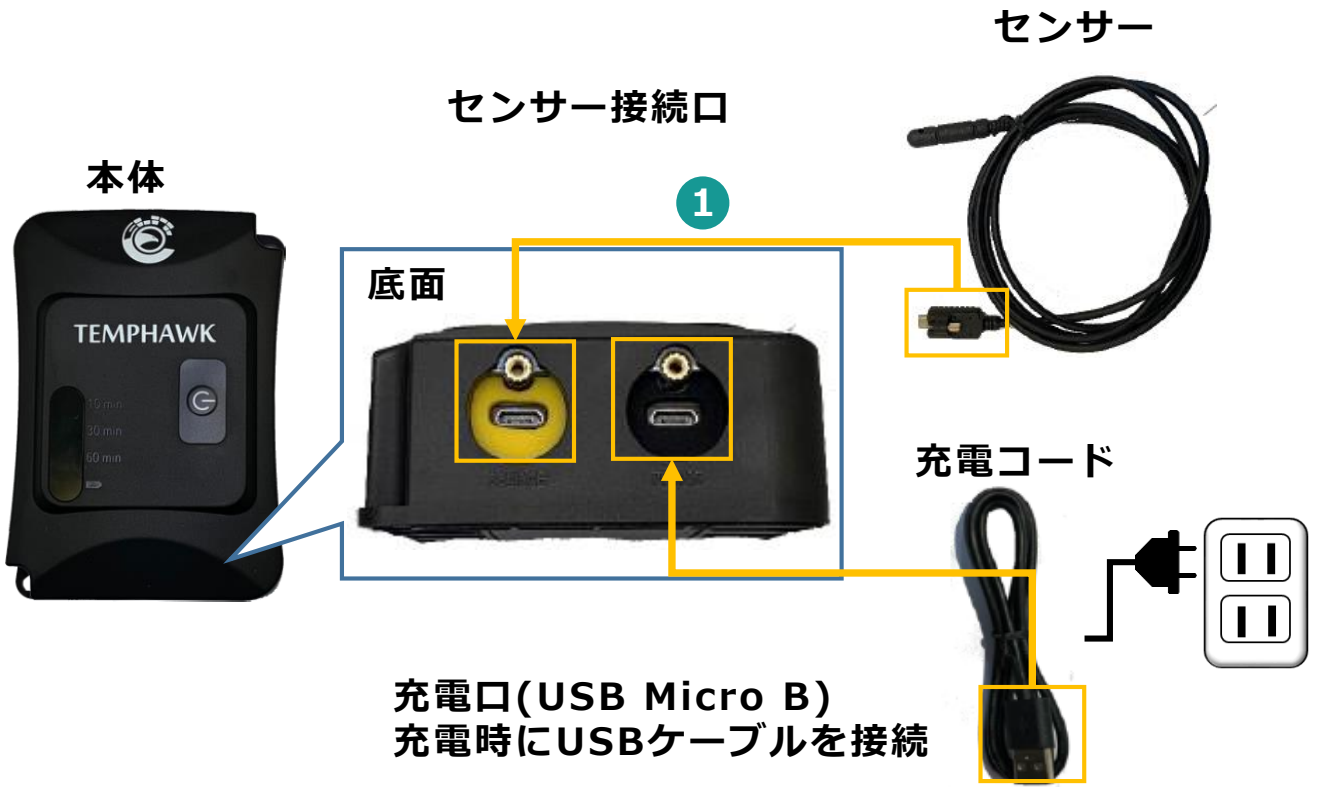
デバイスのボタン:
1. データの送信 (短く押す)
2. データ送信頻度の変更 (長く押す)
の操作ができます。

▶ 次のページへ続く

Step 2

Temphawk本体とセンサーを接続する

- 1 本体の「センサー接続口」に「センサー」を接続します。
- 2 センサーを接続したら、ネジを締めてセンサーが外れないようにします。



充電口(USB Micro B)
充電時にUSBケーブルを接続

※ 接続するのは充電したいときのみ。
フル充電すると5ヶ月以上連続利用できます。



▶ 次のページへ続く

Step 3

データの送信ボタンを押す

- 1 ボタンを押すとデータが即座に送られます。
- 2 ボタンを押した際に点灯するライトは現在の送信頻度を示します。



Step 4

データの送信頻度を変更する

データ送信頻度は、10分毎、30分ごと、60分毎から選択できます。

- 1 ボタンを長押しします。
- 2 全てのライトが点滅します。
- 3 すぐにもう一度ボタンを押して、設定したい頻度にLEDライトを合わせます。
- 4 3秒待つと確定します。



▶ 次のページへ続く

Step
5

最初は充電をして使用する

使用を開始する前にバッテリーをフル充電します。

- ① 充電ケーブルを電源に差し込みます。
- ② 完全に充電されるまで5時間かかります。完全に充電されると、5～12ヶ月程稼働します。

目安：

- ・ 10分ごとのデータ送信: 5ヶ月
- ・ 60分ごとのデータ送信: 12ヶ月

※ 通信状況やバッテリーの性能劣化によって連続使用できる期間は変化します。

※ バッテリー残量が10%以下になる前に再充電を行ってください。

**注意**

- 充電口に酸性やアルカリ性の薬品が付着すると腐食やバッテリー異常の原因となります。薬品が付着する可能性がある場合は、充電口にビニールテープなどを貼り薬品がつかないようにしてください。

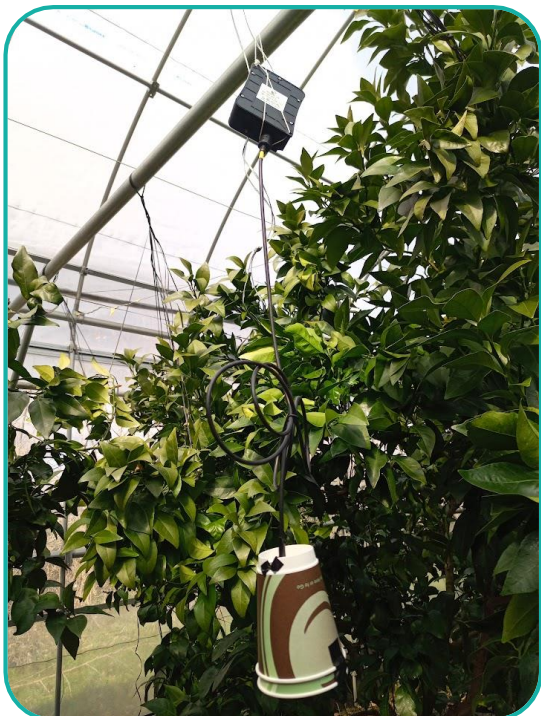


※ 例：ヨウ素などが入った消毒液などはアルカリ性となります。

センサーを設置する

- ① 温湿度を計測したい場所に、センサー(センサーケーブルの先)が位置するように設置してください。
- ② 本体は高い位置に設置したほうがSigfoxの電波が入りやすくなります。
- ③ 直射日光が当たる場合や、鉄パイプなどの熱くなるものの近くでは正確な温度が測れません。その様な場所を避けたり、センサー部分に遮光や断熱効果のあるカバーをかぶせてご利用ください。

設置例



かんきつハウスでの設置例
日光の影響でセンサー部が温まらないように遮光と断熱効果のある素材でカバー



鶏舎での設置例
ミストなどの水分がセンサー部に付着し気化熱で温度が下がらないようにプラスチック素材でカバー



水槽での設置例
センサー部を水槽に入れて水温を計測

▶ 【手順4】 センサを設置する はここまで

センサーデータを記録に反映

Step 1 センサーの接続設定をする

- 1 メニューバーをタップし
- 2 [コネクト-接続する-] を選択し
- 3 [センサー接続] を選択します。



Step 2 接続済みセンサーを記録に連携する

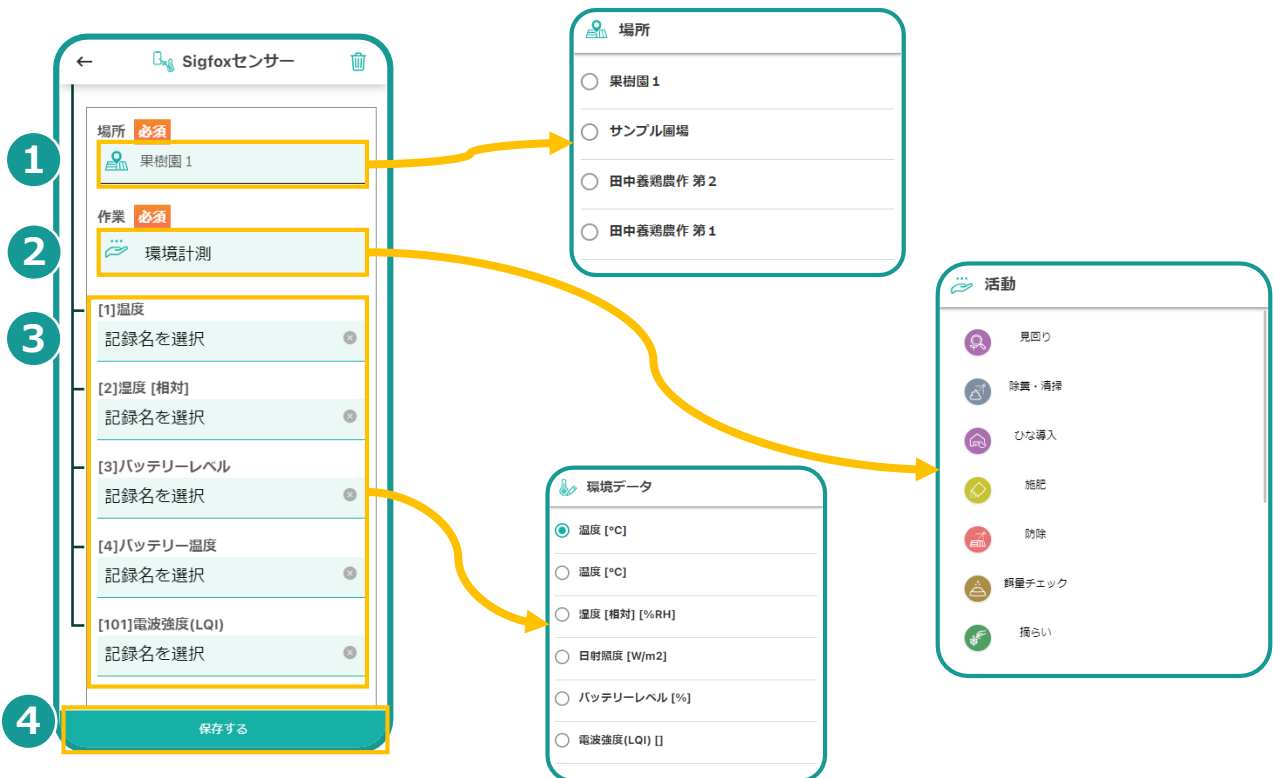
- 1 設定するTemphawkを見つけてタップ。アクト・ノードのECサイトから購入したセンサーはアクト・アップ内に登録がされています。デバイスのシールにある6桁の英数字と一致しているTemphawkを探しましょう。



▶ 次のページへ続く

Step 3 センサーを記録に連携する

- 1 センサーを設置した「場所」を選択します。
- 2 作業は「環境計測」や「環境データ計測」を選択します。
- 3 センサーの項目名に合わせて、対応する記録項目「温度」「湿度」などを設定します。
- 4 [保存する] をタップします。



Step 4 センサーの接続を確認する

- 1 TEMPHAWKのデータ送信ボタンを押します(1秒くらい)。
- 2 [記録一覧]画面を開き、センサーデータが記録されていることを確認します。



▶ 以上でTemphawkの設定は完了です。